

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	1年	2単位	必修
担当教員			
牟田 美信			

講義概要	<p>1st Quarter、2nd Quarterに計画準備を行い、3rd Quarterで体験した、留学・インターンシップ・サービスラーニングに関して、個人、グループでまとめ、プレゼンテーションを作成し、発表を行う。</p> <p>(プレゼンに盛り込む主な内容)</p> <p>留学・インターンシップ・サービスラーニング各活動において、</p> <p>①「何のために参加したのか」</p> <p>②「成果・学んだこと」</p> <p>③「ギャップタームの経験をどのように将来生かして行くか」</p>
授業計画	<p>12/2 ギャップイヤー振り返り① 「インターンシップ・留学・サービスラーニング振り返り」シート、「学修成果記録ノート」に記入する。</p> <p>12/2 ギャップイヤー振り返り② 「インターンシップ・留学・サービスラーニング振り返り」シート、「学修成果記録ノート」に記入する。</p> <p>12/9 就職活動を始めるにあたり① 「就職における適性、志望動機、エントリーシートについて」の講演を聞く。 (講師：フレッシュワーク佐世保)</p> <p>12/9 就職活動を始めるにあたり② 「就職における適性、志望動機、エントリーシートについて」の講演を聞く。 (講師：フレッシュワーク佐世保)</p> <p>12/16 体験の言語化① ギャップイヤーでの経験を言語化するために、プレゼン準備・ポスター等の作成を行う。</p> <p>12/16 体験の言語化② ギャップイヤーでの経験を言語化するために、プレゼン準備・ポスター等の作成を行う。</p> <p>1/13 体験の言語化③ ギャップイヤーでの経験を言語化するために、プレゼン準備・ポスター等の作成を行う。</p> <p>1/13 体験の言語化④ ギャップイヤーでの経験を言語化するために、プレゼン準備・ポスター等の作成を行う。</p> <p>1/20 体験の言語化⑤ ギャップイヤーでの経験を言語化するために、プレゼン準備・ポスター等の作成を行う。</p> <p>1/20 体験の言語化⑥ ギャップイヤーでの経験を言語化するために、プレゼン準備・ポスター等の作成を行う。</p> <p>1/27 体験の言語化⑦ ギャップイヤーでの経験を言語化するために、プレゼン準備・ポスター等の作成を行う。</p> <p>1/27 体験の言語化⑧ ギャップイヤーでの経験を言語化するために、プレゼン準備・ポスター等の作成を行う。</p> <p>2/3 発表リハーサル① プレゼンテーションのリハーサルを行う。 「学修成果記録ノート」に記入する。</p> <p>2/3 発表リハーサル② プレゼンテーションのリハーサルを行う。 「学修成果記録ノート」に記入する。</p> <p>2/10 ポスターセッション① 実際に外部でポスターセッションを行う。</p> <p>2/10 ポスターセッション② 実際に外部でポスターセッションを行う。</p>
授業形態	講義
到達目標	<p>①ギャップイヤーの活動において、自らで立てた目標を達成することができる。</p> <p>②ギャップイヤーの活動において、さらに新しい知識情報を得ることができる。</p> <p>③ギャップイヤーの活動において、起こったリスクに関しても正しく分析・理解し、解決することができる。</p> <p>④ギャップイヤーの活動において、活動計画に沿って問題なく実施することができる。</p> <p>⑤ギャップイヤーの活動において、評価システムに沿って評価することができる。</p>
評価方法	授業中に行う「ポスター等の資料作成 (50%)」、「プレゼンテーション (50%)」で総合的に評価を行う。
評価基準	ポスター等の資料作成 (50%)、プレゼンテーション (50%)
教科書・参考書	特になし

履修条件	
履修上の注意	経験したことを具体的に文章化やプレゼンテーションを行うことで、確実なものとなるので、真剣に取り組むこと。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） *その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	体験したことを可能な限り言語化できるように日頃からメモをとるようにしてください。